

ピーマン生産者が先進的なハウス高温対策の事例を調査しました

銚田市のピーマン生産者のハウスでは、近年の猛暑の影響による高温障害対策やハウス内の作業環境の向上を目的に、屋根散水による昇温抑制の取組が行われています。

令和7年7月29日に神栖市のJAなめがたしおさい波崎青販部会のピーマン生産者ら7名が、銚田市の先進的な高温対策の事例調査を実施しました。

始めに、銚田市のピーマン生産者より、屋根散水を導入した経緯や効果について話していただきました。次に普及センターより、ハウス内温度、収量、品質、費用対効果に関する昨年度の試験結果をもとに、屋根散水の有用性を紹介しました。その後、実際に屋根散水を導入しているハウスに入ると、一同みなハウス内の気温の違いに驚いた様子でした。

部会員からは、屋根散水を行う時期や時間について質問が寄せられた他、「ハウス内で休憩できるくらい涼しい」「うちでも導入したい」などの声が聞かれました。

普及センターでは引き続き、生産者への情報提供を行い、夏季のピーマンの収量安定を支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長産業）

